建設業で活躍する我が子へ

建設産業は良質な社会資本の整備、適正な維持管理を通じて県民生活の向上、安全・安心の確保に取り組むとともに、災害時の緊急対応や復旧活動など「地域の守り手」としての役割を果たしています。しかし、高齢化や若手の減少など人手不足が深刻になっており、担い手確保の重要性が高まる現状です。そこで建設業界に就職した若者とその親御様に就職の決め手となった動機や社会人としての一歩を踏み出した我が子への想い、就職して分かった建設業界などを語ってもらいました。

（企画・制作　下野新聞社営業局）

一般社団法人
栃木県建設業協会
会長　谷黒克守（たにぐろかつもり）

この度の台風19号による災害で、犠牲になられた方々に衷心より追悼の意を捧げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

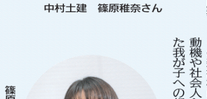
地域の守り手としての役割

我が子への想いを語った座談会出席者

座談会出席者

宇都宮支部	中村土建（株）	篠原稚奈さん、美和さん
下都賀支部	（株）板橋組	大橋圭さん、美恵子さん
塩谷支部	佐藤建設工業（株）	斎藤千寛さん、智子さん
那須支部	（株）生駒組	阿見颯太さん、勝江さん
広報委員会	委員長	岩原正樹
	副委員長	吉田亘
	副委員長	高村宏之

中村土建　篠原稚奈さん



篠原美和さん

座談会

広報委員長　栃木県建設業協会広報委員会の皆さま、建設業界に就職した若者とその親御様に建設業の魅力、社会人として一歩を踏み出した我が子への想い、建設業界の良いところなどを語っていただきます。栃木県内の次世代を担う若者に向けて、皆さまの率直な思いを伝えていただきたいと思っています。座談会のスタートに先立ち、岩原正樹広報委員長から一言いただきます。

岩原委員長　栃木県建設業協会広報委員会委員長の岩原です。建設産業はこれまで社会資本整備や維持管理を通じて、広く県民生活の向上や安全・安心の確保に努め、災害時における緊急対策や復旧活動などを行う「地域の守り手」としての社会的使命が求められています。しかしながら、建設労働者の高齢化、若年入職者の減少により人手不足が深刻になる中、これまで同レベルの事業施工能力や品質維持が懸念されています。

そこで建設業界に就職した若者とその親御様に就職のお決めになった動機や社会人として一歩を踏み出した我が子への想いや実際に働いて分かった建設業界の良いところなどを語っていただき、若い世代の建設業への入職・定着促進や、建設業界のイメージアップにつなげていきたいと考えています。

大橋圭　栃木県建設業協会青年部会の大橋圭です。現在は現場管理をしています。大学生の時、建築設計を学びながら、建築物を造る、形にしていく楽しさを知っていく中で現場でばらやりたいと思ったからです。また、自分が学生時代に学んだ経験や知識が建設業などこまで通用するのかという思いもありました。

大橋美恵子　大橋圭さんのお母様です。

斎藤千寛　塩谷支部、佐藤建設工業・斎藤千寛さんお願いします。

斎藤智子　塩谷支部の佐藤建設工業の斎藤です。現在の業務内容は建築工事です。小さいころから建設機械を見るのが大好きでした。そしていつかその建設機械を運転してみたいと思ったのがきっかけです。

阿見颯太　那須支部、生駒組の阿見颯太です。施工計画書の作成や、現場での作業が主な業務です。私は知人に建設業に関係している方が多かったことと、高校で建設工学のコースを学んでいたことがきっかけです。

―ありがとうございました。我が子の建築現場についてうう思われましたか。今度は、篠原さんの親御様からお願いします。

篠原稚奈　男社会というイメージがあったため心配はしましたが、本人の気持ちを一番に考え、反対はしませんでした。

―続いて、大橋さんの親御様お願いします。

大橋美恵子　小さいころからものを作ることが好きなようでしたし、大学で建築系の勉強をしていましたし、また、身近に建設業に関わる人が多くいたことがあります。そうしたことを生かせる仕事に就いたので継続して頑張ってほしいと思います。

―続いて、斎藤さんの親御様お願いします。

斎藤千寛　男社会の厳しい環境の中でうまくやっているか心配でした。ですが、幼少の頃から建設機械が好きでその気持ちが変わらず、大人になった今も興味のある仕事をやりたいという思いがありました。

―続いて、阿見さんの親御様お願いします。

阿見勝江　厳しい世界だと思うので続けていけるか心配でしたが、本人がやってみたいと決めました。

―実際に就職して職場の環境はどうだったでしょうか。篠原さんからお願いします。また、就職後の環境の変化について親御様はどう思われましたか。

篠原稚奈　建設業、特に土木現場に出ている女性は少ないのではないかと思っていましたが、実際には女性専用更衣室など女性が働きやすい環境づくりが進んでいることに驚きました。また、仕事を始めてコミュニケーションの大切さを知りました。さまざまな人の知恵や技術を出し合って現場が完成していくことに自分も携わることができ、やりがいを感じています。

篠原稚　就職してからは何事も計画を立て生活するようになり、感心しています。

―ありがとうございました。続いて大橋さんと親御様お願いします。

大橋圭　工事が進み、作っているものが完成した時に達成感を感じます。自分が完成した喜びや印象をした一本の線に対する責任の重さを感じました。幅広い範囲の職人の方、設計士の方などとさまざまな会話をすることでコミュニケーション能力が磨かれると感じました。

大橋美恵子　圭が子どもの頃から、ものづくりが好きで、将来は建設業に関わる仕事をしたいと言っていたことを覚えています。

―ありがとうございました。斎藤さんと親御様お願いします。

斎藤千寛　学生の頃と違い、社会人としての心構えが備わった思いますね。

―阿見さんと親御様お願いします。

阿見颯太　右も左も分からない自分を親切に指導してくれ、とても感謝しています。コミュニケーションの大切さも知りました。

阿見勝江　社会人としての自覚や責任が芽生えてきたと思います。家庭の仕事も考えながら手伝いもしてくれるようになりました。

―続けて親御様にお聞きします。我が子が建設業の世界に飛び込んだわけですが、将来への展望や期待することはありますか。今度は阿見さん、斎藤さん、大橋さん、篠原さんの順にお願いします。

阿見勝江　資格や免許を取ることができるので、一つ一つ取得し、着実に自分になって欲しいと思います。

阿見颯太　我々と一緒に建設業の素晴らしさを共感しましょう。

斎藤千寛　建設業界一緒に盛り上げていきましょう。

大橋圭　3K（きつい・きけん・きたない）イメージは必ずしも当てはまることではないと思います。一人一人が意識すれば3Kというイメージはなくなると思います。若い人にはそういったイメージを変えていく先駆けになって欲しいです。

篠原稚奈　女性がこの業界で活躍できるのか不安でしたが、実際に現場に出て女性が少ない現場だからこそ、女性の視点や考え方生かすことができると気付きました。女性でもこの業界で活躍することが可能ですので、今後建設業界に、若い女性が増えてほしいと思います。

―最後に広報委員長から一言ずつお願いします。

岩原委員長　土木、建築の現場は一つ一つが思い出になるものです。皆さんにはさらなる人間力をつけていただき、建設業界に入ってよかったと思えるような人になっていただきたいです。一緒に建設業を盛り上げていきましょう。

吉田亘副委員長　若い皆さんにとっては今の時期は大変なことが多いかと思います。皆さんが追っている道路や建築物は10年、20年経過して、自分がその建物に入り、道路を通ってみると、一瞬で作っていた同時の思い出がよみがえってくるものです。そういう達成感、やりがいは建設業ならではのものです。これからもがんばってください。

高村宏之副委員長　「一つをもってこれを貫く」という言葉があります。この仕事に就いてそれを全うし貫けるのは、幸せなことです。皆さん一人一人がこの仕事を誇りにしていただき、上に立った時、新人の教育をしていただきたい。そうすることによって建設業を盛り上げていただきたいと思います。

生駒組　阿見颯太さん

佐藤建設工業　斎藤千寛さん

阿見勝江さん

斎藤智子さん

現場での活躍風景

生駒組の阿見颯太さん。測量機器で現場での丁張（目印）の高さを確認する

佐藤建設工業の斎藤千寛さん。舗装現場で大型ローラーの転圧作業を行う

板橋組の大橋圭さん。埋設工事の掘削した高さを実測

中村土建の篠原稚奈さん。三次元データを作成に際して現場を測量

自分を磨き、地域のために

板橋組　大橋圭さん

大橋美恵子さん

大橋美恵子　建設業は工事をする中でたくさんの人と関わるので、人間関係を上手に築けないといけないイメージがあります。今は、責任のある仕事現場でがんばっていると思います。あまり心配することはありませんね。

―続いて斎藤さんと親御様お願いします。

斎藤千寛　いろいろながいて、その人一人一人に個性があってなじむまで大変なところもありました。

斎藤圭　学生の頃と違い、社会人としての心構えが備わった思いますね。

―阿見さんと親御様お願いします。

阿見勝江　右も左も分からない自分を親切に指導してくれ、とても感謝しています。コミュニケーションの大切さも知りました。

阿見颯太　社会人としての自覚や責任が芽生えてきたと思います。家庭の仕事も考えながら手伝いもしてくれるようになりました。

―続けて親御様にお聞きします。我が子が建設業の世界に飛び込んだわけですが、将来への展望や期待することはありますか。今度は阿見さん、斎藤さん、大橋さん、篠原さんの順にお願いします。

阿見勝江　資格や免許を取ることができるので、一つ一つ取得し、着実に自分になって欲しいと思います。

阿見颯太　我々と一緒に建設業の素晴らしさを共感しましょう。

斎藤千寛　3K（きつい・きけん・きたない）イメージは必ずしも当てはまることではないと思います。一人一人が意識すれば3Kというイメージはなくなると思います。若い人にはそういったイメージを変えていく先駆けになって欲しいです。

大橋圭　たくさんの人と協力して地図に残るものを完成させた時の達成感を多くの人に味わってほしいです。

篠原稚奈　女性がこの業界で活躍できるのか不安でしたが、実際に現場に出て女性が少ない現場だからこそ、女性の視点や考え方生かすことができると気付きました。女性でもこの業界で活躍することが可能ですので、今後建設業界に、若い女性が増えてほしいと思います。

―最後に広報委員長から一言ずつお願いします。

岩原委員長　土木、建築の現場は一つ一つが思い出になるものです。皆さんにはさらなる人間力をつけていただき、建設業界に入ってよかったと思えるような人になっていただきたいです。一緒に建設業を盛り上げていきましょう。

吉田亘副委員長　若い皆さんにとっては今の時期は大変なことが多いかと思います。皆さんが追っている道路や建築物は10年、20年経過して、自分がその建物に入り、道路を通ってみると、一瞬で作っていた同時の思い出がよみがえってくるものです。そういう達成感、やりがいは建設業ならではのものです。これからもがんばってください。

高村宏之副委員長　「一つをもってこれを貫く」という言葉があります。この仕事に就いてそれを全うし貫けるのは、幸せなことです。皆さん一人一人がこの仕事を誇りにしていただき、上に立った時、新人の教育をしていただきたい。そうすることによって建設業を盛り上げていただきたいと思います。

岩原正樹委員長

吉田亘副委員長

高村宏之副委員長

建設業界就職の決め手

岩原委員長　本日は、栃木県建設業協会広報委員会の皆さま、建設業界に就職した若者とその親御様に建設業の魅力、社会人として一歩を踏み出した我が子への想い、建設業界の良いところなどを語っていただきます。栃木県内の次世代を担う若者に向けて、皆さまの率直な思いを伝えていただきたいと思っています。座談会のスタートに先立ち、岩原正樹広報委員長から一言いただきます。

岩原委員長　栃木県建設業協会広報委員会委員長の岩原です。建設産業はこれまで社会資本整備や維持管理を通じて、広く県民生活の向上や安全・安心の確保に努め、災害時における緊急対策や復旧活動などを行う「地域の守り手」としての社会的使命が求められています。しかしながら、建設労働者の高齢化、若年入職者の減少により人手不足が深刻になる中、これまで同レベルの事業施工能力や品質維持が懸念されています。

そこで建設業界に就職した若者とその親御様に就職のお決めになった動機や社会人として一歩を踏み出した我が子への想いや実際に働いて分かった建設業界の良いところなどを語っていただき、若い世代の建設業への入職・定着促進や、建設業界のイメージアップにつなげていきたいと考えています。

―ありがとうございました。我が子の建築現場についてうう思われましたか。今度は、篠原さんの親御様からお願いします。

篠原稚奈　男社会というイメージがあったため心配はしましたが、本人の気持ちを一番に考え、反対はしませんでした。

―続いて、大橋さんの親御様お願いします。

大橋美恵子　小さいころからものを作ることが好きなようでしたし、大学で建築系の勉強をしていましたし、また、身近に建設業に関わる人が多くいたことがあります。そうしたことを生かせる仕事に就いたので継続して頑張ってほしいと思います。

―続いて、斎藤さんの親御様お願いします。

斎藤千寛　男社会の厳しい環境の中でうまくやっているか心配でした。ですが、幼少の頃から建設機械が好きでその気持ちが変わらず、大人になった今も興味のある仕事をやりたいという思いがありました。

―続いて、阿見さんの親御様お願いします。

阿見勝江　厳しい世界だと思うので続けていけるか心配でしたが、本人がやってみたいと決めました。

―実際に就職して職場の環境はどうだったでしょうか。篠原さんからお願いします。また、就職後の環境の変化について親御様はどう思われましたか。

篠原稚奈　建設業、特に土木現場に出ている女性は少ないのではないかと思っていましたが、実際には女性専用更衣室など女性が働きやすい環境づくりが進んでいることに驚きました。また、仕事を始めてコミュニケーションの大切さを知りました。さまざまな人の知恵や技術を出し合って現場が完成していくことに自分も携わることができ、やりがいを感じています。

篠原稚　就職してからは何事も計画を立て生活するようになり、感心しています。

―ありがとうございました。続いて大橋さんと親御様お願いします。

大橋圭　工事が進み、作っているものが完成した時に達成感を感じます。自分が完成した喜びや印象をした一本の線に対する責任の重さを感じました。幅広い範囲の職人の方、設計士の方などとさまざまな会話をすることでコミュニケーション能力が磨かれると感じました。

大橋美恵子　圭が子どもの頃から、ものづくりが好きで、将来は建設業に関わる仕事をしたいと言っていたことを覚えています。

―ありがとうございました。斎藤さんと親御様お願いします。

斎藤千寛　学生の頃と違い、社会人としての心構えが備わった思いますね。

―阿見さんと親御様お願いします。

阿見勝江　右も左も分からない自分を親切に指導してくれ、とても感謝しています。コミュニケーションの大切さも知りました。

阿見颯太　社会人としての自覚や責任が芽生えてきたと思います。家庭の仕事も考えながら手伝いもしてくれるようになりました。

―続けて親御様にお聞きします。我が子が建設業の世界に飛び込んだわけですが、将来への展望や期待することはありますか。今度は阿見さん、斎藤さん、大橋さん、篠原さんの順にお願いします。

阿見勝江　資格や免許を取ることができるので、一つ一つ取得し、着実に自分になって欲しいと思います。

阿見颯太　我々と一緒に建設業の素晴らしさを共感しましょう。

斎藤千寛　3K（きつい・きけん・きたない）イメージは必ずしも当てはまることではないと思います。一人一人が意識すれば3Kというイメージはなくなると思います。若い人にはそういったイメージを変えていく先駆けになって欲しいです。

大橋圭　たくさんの人と協力して地図に残るものを完成させた時の達成感を多くの人に味わってほしいです。

篠原稚奈　女性がこの業界で活躍できるのか不安でしたが、実際に現場に出て女性が少ない現場だからこそ、女性の視点や考え方生かすことができると気付きました。女性でもこの業界で活躍することが可能ですので、今後建設業界に、若い女性が増えてほしいと思います。

―最後に広報委員長から一言ずつお願いします。

岩原委員長　土木、建築の現場は一つ一つが思い出になるものです。皆さんにはさらなる人間力をつけていただき、建設業界に入ってよかったと思えるような人になっていただきたいです。一緒に建設業を盛り上げていきましょう。

吉田亘副委員長　若い皆さんにとっては今の時期は大変なことが多いかと思います。皆さんが追っている道路や建築物は10年、20年経過して、自分がその建物に入り、道路を通ってみると、一瞬で作っていた同時の思い出がよみがえってくるものです。そういう達成感、やりがいは建設業ならではのものです。これからもがんばってください。

高村宏之副委員長　「一つをもってこれを貫く」という言葉があります。この仕事に就いてそれを全うし貫けるのは、幸せなことです。皆さん一人一人がこの仕事を誇りにしていただき、上に立った時、新人の教育をしていただきたい。そうすることによって建設業を盛り上げていただきたいと思います。

台風19号の災害復旧に取り組む地元建設業

佐野市栃皆町の秋山川にかかる海蔵橋付近の応急仮復旧工事

栃木市星野町の永野川にかかる新業生橋付近の応急仮復旧工事

鹿沼市朝日町の黒川にかかる府中橋付近の応急仮復旧工事

那須烏山市藤田の荒川にかかる藤田橋付近の応急仮復旧工事をドローンから撮影

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業　被災者（死亡および障害・傷病3級以上）の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業　① 安全衛生用品の頒布　② 女性専用トイレ導入費用に対する助成　③ 安全衛生推進者表彰　等

公益財団法人
建設業福祉共済団
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー11階

詳しい情報、掛金試算などのお問い合わせは
Tel.03-3591-8451 Fax.03-3591-8474
■ 取扱機関：（一社）栃木県建設業協会

契約者と業界の発展のために　建設共済保険　検索
http://www.kyousaidan.or.jp/

地域から今、必要とされる時
（一社）栃木県建設業協会
宇都宮市簗瀬町 1958-1 TEL028-639-2611
http://www.tochiken.or.jp/

宇都宮支部	TEL 028-636-5221	塩谷支部	TEL 0287-43-0142
鹿沼支部	TEL 0289-65-2020	那須支部	TEL 0287-22-2124
日光支部	TEL 0288-54-0140	烏山支部	TEL 0287-82-3161
芳賀支部	TEL 0285-82-2051	安蘇支部	TEL 0283-24-3838
下都賀支部	TEL 0282-24-5420	足利支部	TEL 0284-71-0044

栃木県建設業協会　検索